

平成28年度高知県文化財団事業報告

1 平成28年度事業報告

高知県から指定管理者制度に基づく指定を受けて、①美術館、②歴史民俗資料館、③坂本龍馬記念館、④文学館、⑤埋蔵文化財センターの管理運営を行い、一層の県民サービスの向上と経営の効率化の視点に立った運営に努めた。また、芸術文化活動の振興に資する多様な事業や埋蔵文化財発掘調査を実施した。

(1) 総務部

ア 文化振興事業

(ア) 情報誌の発行等、広報活動

a 「高知県文化財団ミュージアムスタンプラリー」の発行・配布

美術館・歴史民俗資料館・坂本龍馬記念館・文学館・埋蔵文化財センターが、夏休みに行う子ども対象の普及プログラムをまとめた印刷物を作成し、県内全小学校の児童等に配布した。施設のスタンプラリーも実施し、集めたスタンプ数に対して、年間ミュージアムパスポートや各施設のオリジナルグッズ等を進呈した。

b 「(公財)高知県文化財団イベント・リーフレット」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている県立美術館をはじめとする5つの施設と文化財団総務部が行うイベントをまとめたリーフレットを作成、配布した。

(イ) 子どもを中心とした教育普及活動

幼少時から芸術文化に親しむ機会を提供することと、各施設の広報宣伝を目的に、イオンモール高知を会場にしたワークショップ(「Bunkazaidanこどもクラブ」)を開催した。

開催日	内容	講師等	参加者数 (延べ)
H28. 4. 2(土)	オープン粘土でブローチを作ろう	三本桂子	27人
H28. 6. 18(土)	歌って作って音楽絵本	ママ・レヴィーユ	32人
H28. 8. 20(土)	和紙といっしょにだんだダンス	浜田あゆみ	20人
H28. 10. 15(土)	きらきらカラフルモンスターを作ろう	なかひらじゅんこ	37人
H28. 12. 4(日)	クリスマスミニコンサート	ママ・レヴィーユ	—
H29. 2. 4(土)	まいぶん出前考古学教室	高知県立埋蔵文化財センター	130人

(ウ) 県内各地域での芸術文化事業の実施

地域の子供たちが、普段なかなか体験できないような芸術にふれてもらうことを目的に、東京で活躍するダンスカンパニー「ビルディング」を講師に、創作ダンスなどを県内の小学校や高校で実施した。

開催日	開催場所	内容	参加者数	備考
H28. 10. 27(木)	須崎市立多ノ郷小学校、 高知中央高校	ビルディングからだ工場 i n 高知	133人	加藤紗希 (講師)
H28. 10. 28(金)	須崎市立新荘小学校、 須崎市立須崎小学校		132人	

イ 高知県芸術祭開催事業（受託事業）

県民が芸術文化に接する機会を増やし、県民自ら参加する文化活動の促進に努め、文化の息づく郷土づくりを進めるため第66回高知県芸術祭を開催した。《地域×アート》をコンセプトに高知県内で開催される芸術文化活動を助成する「KOCHI ART PROJECTS (KAP) 助成事業」や第45回高知県芸術祭文芸賞等の事業を実施した。また、芸術祭オープニングイベントとして美術館ホールと佐川町桜座で「日露交歓コンサート2016」を開催した。

開催期間：H28. 9. 15(木)～12. 11 (日)

(ア) 芸術祭参加事業数 [() 内は前年度数]

行事区分	事業数
主催行事	11 (7)
共催行事	21 (23)
協賛行事 (名義使用)	66 (72)
計	98 (102)

※主催行事は助成事業K A P採択事業

(イ) 参加者数 [() 内は前年度数]

行事区分	参加者数
主催行事	3, 183人 (4, 228人)
共催行事	57, 135人 (84, 501人)
協賛行事 (名義使用)	103, 654人 (110, 187人)
計	163, 972人 (198, 916人)

(ウ) 文芸賞 [() 内は前年度数]

	応募総数	応募人数	文芸賞	奨励賞	佳作
短編小説	54 (34)	54 (34)	1	2	0
詩	136 (54)	136 (54)	1	5	5
短歌	330 (302)	132 (112)	1	5	5
俳句	765 (606)	298 (140)	1	5	10
川柳	473 (449)	106 (102)	1	5	10
計	1, 758 (1, 445)	726 (442)	5	22	30

ウ 文化事業に対する助成事業

(ア) 文化事業助成金

文化関係団体等の行う文化事業に対して助成金を交付し、県内文化の振興発展に努めた。

団体名	事業名	実施期日	分野	助成額(万円)
絵金のまち・赤岡町家再生活用プロジェクト	香南市・赤岡町「赤れんが商家」における近代能楽集の上演による歴史的建築空間の再構築	H28. 7. 16(土)～17(日)	伝統芸能	40
ふたりっこプロデュース	Washi+Performing Arts? Project Vol. 2	H28. 8. 27(土)、28(日)	演劇	40
土佐ジョン万会	第2回ジョン万次郎英語弁論大会	H28. 8. 27(土)	学芸	40
高知交響楽団	高知交響楽団創立85周年記念演奏会(第157回定期演奏会)	H28. 12. 25(日)	音楽	40
高知バッハカンタータフェライン	高知バッハカンタータフェライン創立20周年記念演奏会	H29. 3. 5(日)	音楽	40

(イ) 県内文化事業への名義後援

県内で実施される芸術文化事業へ名義後援を行った。

平成28年度後援事業：「第24回右城暮石顕彰全国俳句大会」他15事業

(2) 美術館

企画展のうち、共同企画展としては、南米ブラジルのモレイラ・サーレス財団と協働して「大原治雄写真展ーブラジルの光、家族の風景」を、また、鳥取県立博物館及び埼玉県立近代美術館と協働して「日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト」展をそれぞれ開催した。

アール・ヌーヴォーのガラスコレクション、現代美術の高橋龍太郎コレクションを紹介する巡回展でも、単なる巡回のものにならないよう、当館ならではの作品選定や関連イベントに工夫を凝らして開催した。

常設展としては、当館の二大コレクションであるマルク・シャガール及び石元泰博の作品を、日頃の調査研究をもとに魅力的なテーマを複数設定し、それぞれ年間6回に分けて展示するとともに、その他の収蔵品の中からテーマに沿って厳選した作品や新収蔵品等を紹介した。

美術館ホールの自主事業としては、これまで培ってきた国内外のネットワークを活かして、優れた舞台芸術の共同招聘、新たな舞台芸術の国際共同製作及び公演開催に取り組んだほか、引き続き新たな価値を創造し得る海外アーティストの長期滞在プログラムを実施した。また、市中の映画館では接することの出来ない多様な映画を年間4回、それぞれテーマを決めて上映した。

教育普及活動としては、美術と美術館に親しみ、楽しんでもらうために、展覧会等に関連した講演会、ワークショップ、定期的なギャラリートークを実施したほか、展示室、コレクション、専門スタッフといった美術館ならではの資源をこども達の育成に活用していただくため、学校と連携した活動(スクールプログラム)を館内外で積極的に進めた。

さらに、芸術文化創造・発表の場として、県民ギャラリーや美術館ホール等の貸出を行った。

ア 美術館利用状況

(ア) 展覧会等

展 覧 会		入館者 (人)	利用料金 (千円)	備 考
主 催	常設展 (コレクション展)	5,888	1,724	(主催展の入館者内訳) 一 般 : 21,745 人 大 学 生 : 980 人 小 中 高 生 : 4,629 人 減免・招待者 : 16,506 人
	企画展	37,972	18,028	
	美術館ホール	4,455	4,345	
	計	48,315	24,097	
貸 館	第 70 回高知県展	9,742	—	(ホールの入場者内訳) 一 般 : 3,223 人 小 中 高 大 生 : 301 人 減免・招待者 : 931 人
	第 20 回スピリットアート展	5,282	—	
	第 45 回ホルト・パー文化展	2,951	—	
	第 67 回こども県展	5,885	—	
	第 37 回高知県女流展	3,985	—	
	計	27,845	—	
美術館ホール		40,525	13,184	利用日数 : 266 日
県民ギャラリー・企画展示室		61,374	7,408	利用日数 : 286 日
会議室・講義室・創作室		—	41	件 数 : 7 件
写真撮影等		—	38	件 数 : 44 件
合 計		178,059	44,768	

(イ) その他の事業

	事 業 名	年間合計利用者数 (人)
館内	ワークショップ・講座等	1,702
館外	出前びじゅつ講座	460
	出前クラシック教室	273
	出前演劇教室	529
	講師派遣	80
	舞台演劇・コンサート(共催)	2,409
計		5,453

(ア)+(イ) 利用者数総計 183,512 人

イ 外部資金 (助成金、補助金、賞金)

交 付 先	事 業 名	金額 (千円)
(一財) 地域創造	平成 28 年度地域の文化・芸術活動事業助成事業 ①国際共同製作ダレン・ジョンストン「Zero Point」	① 10,000
	②野田秀樹作・オンケンセン演出国際共同企画「三代目、りちやあど」	② 5,000
文化庁	平成 28 年度文化芸術振興費補助金「劇場・音楽堂等活性化事業」 高知パフォーミング・アーツ 2016	13,700
美術館連絡協議会	2016 年度美術館連絡協議会 美術館活動助成 高知の移民発信プロジェクト	300

高知県教職員互助会	平成 28 年度高知県教職員互助会助成事業 「アール・ヌーヴォーのガラス デュッセルドルフ美術館 ゲ ルダ・ケプフ・コレクション」展 (親子対象ワークショップ)	400
合 計		29,400

ウ 展覧会開催事業

(ア) 常設展 (コレクション展)

a シャガール・コレクション展(第1展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	備 考
ラ・フォンテーヌ「寓話」前期	H28. 4. 1(金)～ 5.15(日)	45	会期：H28. 3.23(水)から
ラ・フォンテーヌ「寓話」後期	H28. 5.17(火)～ 7. 3(日)	48	
「ダフニスとクロエ」前期	H28. 7. 5(火)～ 9. 4(日)	62	
「ダフニスとクロエ」後期	H28. 9. 6(火)～11.13(日)	69	
「そして地上には・・・」	H28.11.15(火)～H29.1.22(日)	63	12.27(火)～ 1.1(日)休館
「アラビアンナイト」	H29. 1.24(火)～ 3.20(月・祝)	56	
「出エジプト記」	H29. 3.22(水)～ 3.31(金)	10	会期：H29. 5.14(日)まで

b コレクション・テーマ展(第4展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	備 考
「土方久功展－南洋の光と影」	H28. 4. 1(金)～ 6.15(水)	76	会期：H28. 3.23(水)から
「鳥にうっとり♡」	H28.10.19(水)～12.18(日)	61	
「高知の戦後美術」	H28.12.21(水)～H29.2.25(土)	61	12.27(火)～ 1.1(日)休館
「絵金特集－もうひとつの絵金」	H29. 3.30(木)～ 3.31(金)	2	会期：H29. 6.11(日)まで

c 石元泰博コレクション展(石元泰博展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	備 考
「再現:ディオゲネス・ウィズ・ア・カメラV」前期	H28. 4. 5(火)～ 6.20(月)	77	
「再現:ディオゲネス・ウィズ・ア・カメラV」後期	H28. 6.25(土)～ 8. 7(日)	44	
「なかま」前期	H28. 8. 9(火)～10. 2(日)	55	
「なかま」後期	H28.10. 4(火)～11.27(日)	55	
「かたち」前期	H28.11.29(火)～H29.2.5(日)	63	12.27(火)～ 1.1(日)休館
「かたち」後期	H29. 2. 7(火)～ 3.31(金)	53	会期：H29. 4.2(日)まで

(イ) 企画展

展覧会名	会期	日数	観覧者(人)
「大原治雄写真展－ブラジルの光、家族の風景」	H28. 4. 9(土)～ 6.12(日)	65	7,650
「アール・ヌーヴォーのガラス デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション」展	H28. 6.26(日)～ 8.28(日)	64	17,025
「高橋コレクション マインドフルネス!2016」展	H28.11. 3(木・祝)～H29.1.22(日)	75	9,102
「日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト」展	H29. 2.12(日)～ 3.26(日)	43	4,195
観覧者合計			37,972

エ 教育普及事業

(ア) スクール・プログラム

a 出前びじゅつ講座

開催校名	実施日数	参加者(人)
四万十町立興津小学校ほか5校	H28.6.2(木)ほか6日	460

b 出前クラシック教室

開催校名	実施日数	参加者(人)
大川村立大川小学校・中学校ほか4校	H28.11.21(月)ほか4日	273

c 出前演劇教室

開催校名	実施日数	参加者(人)
香南市立赤岡小学校ほか3校	H28.12.8(木)ほか5日	529

d 学校団体鑑賞等受け入れ

受け入れ団体数	実施日	参加者(人)
越知町立越知小学校ほか延51学校等	通年	2,828

e 講師派遣

実施団体名	実施日数	参加者(人)
高知市教育研究会図工・美術部会ほか1団体	H28.8.23(火)ほか1日	80

f 博物館実習生の受け入れ：10人(高知大学、神戸大学、学習院女子大学ほか)

(イ) 展覧会開催関連企画

a ギャラリートーク

展覧会名	実施日	参加者(人)	備考
「大原治雄写真展－ブラジルの光、家族の風景」	H28. 4.17(日)など全6回	106	手話通訳、英語通訳付ガイド各1回
「アール・ヌーヴォーのガラス デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション」展	H28. 6.26(日)など全8回	306	手話通訳、英語通訳付ガイド各1回
「高橋コレクション マインドフルネス!2016」展	H28.11.13(日)など全5回	101	手話通訳、英語通訳付ガイド各1回

「日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト」展	H29. 2. 12(日)など全5回	102	手話通訳、英語通訳付ガイド各1回
シャガール・コレクション展	土・日曜日(通年)全105回	226	
コレクション・テーマ展	土曜日(会期中)全28回	128	
参加者合計		969	

b 講演会等

展覧会名	実施日	講師名	参加者(人)
「大原治雄写真展ーブラジルの光、家族の風景」	H28. 4. 9(土)	「記念講演会 大原治雄作品の魅力について」 セルジオ・ブルギ(モレイラ・サーレス財団写真部門総監督)	52
	H28. 4. 24(日)	「レクチャー 高知とブラジル移民、大原治雄の足跡を訪ねて」 酒井邦博(NHK制作局ディレクター)、中村茂生(早稲田大学移民・エスニック文化研究所招聘研究員)	54
「アール・ヌーヴォーのガラス デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション」展	H28. 7. 3(日)	「七夕コンサート」 昭和音楽大学卒業生による同侪会高知支部	60
「高橋コレクション マインドフルネス!2016」展	H28. 11. 3(木・祝)	「展覧会オープニング記念対談 現代アートの魅力について」 高橋龍太郎(精神科医、本展コレクター)、松井えり菜(本展出品美術作家)	115
	H28. 12. 23(金・祝)	「スペシャル・ギャラリートーク」 松井えり菜(本展出品美術作家)	51
「日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト」展	H29. 2. 12(日)	「記念講演会 キュビスムは二度死ぬ、あるいは死なない」 尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)	46
参加者合計			378

c 映画上映会

展覧会名	実施日・会場	上映作品名	入場者(人)
「大原治雄写真展ーブラジルの光、家族の風景」	H28. 5. 28(土)、 5. 29(日)	「ブラジル映画特集 果てしなき大地、見果てぬ夢」	再掲 (248)

d 展覧会関連ワークショップ

展覧会名	実施日	内容等	参加者(人)
「大原治雄写真展ーブラジルの光、家族の風景」	H28. 5. 5(木・祝)	「こどもの日にこどもの写真を撮ろう！」 高橋正徳(写真家)	10
「アール・ヌーヴォーのガラス デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション」展	H28. 7. 9(土)	「ガラスに描かれた植物観察会」 稲垣典年(高知県立牧野植物園解説員)、中谷有里(高知県立美術館担当学芸員)	16
	H28. 7. 23(土)	「光とガラスの実験室」 木藤歩(照明デザイナー)	30

「高橋コレクション マインドフルネス!2016」展	H28. 12. 4(日)	「えがく、きる、うまれかわる」 竹崎和征 (美術作家)	58
「日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト」展	H29. 2. 26(日)	「キュビズム・マスクをつくろう」 井関さおり、国吉晶子 (造形教室スタッフ)	57
	H29. 3. 5(日)	「キュビズム体操」 高橋唐子 (美術家)	25
参加者合計			196

オ 石元泰博フォトセンター事業

(ア)「深める」活動 (保存管理、調査研究、収集)

館内ではプリント・フィルム等の内容確認及び整理作業を優先的に行い、その一方で公開用データベース構築のための基礎作業も進めた。また、館外では文献調査等を行った。

(イ)「広める」活動 (展示公開、著作権管理)

石元泰博展示室を拠点にコレクションを年6回の展示替で常設公開した。また、著作権の適切な管理などを進め、コレクション情報の部分的なウェブ公開にも努めた。

(ウ)「つなぐ」活動 (教育普及)

昨年度に引き続き、石元氏の母校である土佐市立高岡第二小学校をはじめ土佐市内の児童・生徒を美術館に招待したほか、高岡第二小学校で開催された地域の祭りにも参加し、石元氏の間像を広く伝えた。

カ 美術館ホール事業

(ア)舞台公演等

公 演 名	開 催 日	入場者(人)
ダレン・ジョンストン「ZERO POINT」(日本・イギリス・オーストラリア共同製作)	H28. 6. 25(土)、 6. 26(日)	736
アーティスト・イン・レジデンス 2016 ヴィルヴァ・タロネン&ナンニ・ヴァバーヴオリ (フィンランド)	H28. 11. 3(木・祝)	302
「三代目、りちやあど」(日本・シンガポール・インドネシア共同制作)	H28. 12. 14(水)	249
0歳からのクラシックコンサート	H29. 2. 19(日)	1,029
カンパニーデラシネラ新作公演「ドン・キホーテ」	H29. 3. 3(金)、3. 4(土)	358
入場者合計		2,674

(イ)定期上映会

事 業 名	開 催 日	入場者(人)
春の定期上映会 「ブラジル映画特集 果てしなき大地、見果てぬ夢」	H28. 5. 28(土)、 5. 29(日)	248
夏の定期上映会 「空想特撮映画特集」	H28. 8. 27(土)、 8. 28(日)	359
秋の定期上映会 「美術館と繋がる大切な宝物」	H28. 11. 19(土)、 11. 20(日)	192
冬の定期上映会 「映画の巨匠ルキーノ・ヴィスコンティ映画上映会」	H29. 1. 28(土)、 1. 29(日)	531
入場者合計		1,330

(ウ) 共催事業

事業名	開催時期	入場者(人)
演劇祭 KOCHI2016 (※館外)	H28. 5. 14(土)～ 7. 3(日)	978
高知の移民文化発信プロジェクト	H28. 5. 15(日)	108
高知オフシアターベストテン上映会 2016	H28. 7. 2(土)、 7. 3(日)	263
熊本地震復興チャリティ上映会「うつくしいひと」	H28. 7. 15(金)	155
四万十川国際音楽祭 2016 (※館外)	H28. 7. 17(日)～12. 17(土)	1,431
「お國と五平」上演プロジェクト	H28. 7. 20(水)	105
日露交歓コンサート 2016	H28. 9. 15(木)	305
シネマの食堂 2016 オープニング上映会	H28. 9. 30(金)	171
松田弦リサイタル	H28. 11. 5(土)	317
「絵の中のぼくの村」上映会	H28. 11. 17(木)	90
入場者合計		3,923

(エ) 舞台公演等関連ワークショップ

ワークショップ名	開催日	参加者(人)
ダレン・ジョンストン「ZERO POINT」	H28. 6. 21(火)	23
松田弦	H28. 8. 23(火)	65
アーティスト・イン・レジデンス(フィンランド)	H28. 10. 10(月・祝)、 10. 12(水)、10. 19(水)、 10. 26(水)、11. 1(火)	延 68
三代目、りちゃあど	H28. 11. 12(土)	18

キ 文化芸術の海外拠点形成事業

当館は、長年にわたり国内外の優れた作品を紹介してきたことで日本の芸術発信拠点として認知されつつある。

平成23年度から、新たな価値を創造しうる海外アーティストの長期滞在制作プログラムを実施し、新たな文化創造と国際的な発信の拠点となる取り組みを進めている。

平成28年度は、フィンランドのアーティストが約1カ月(10/7～11/3)、高知に滞在し、地域住民らと作品を創作したうえ、発表した。

(3) 歴史民俗資料館

企画展として、春は陰陽道・修験道・神道・仏教などが混交した民間信仰を取り上げた「いざなぎ流の里・物部一神々と精霊の棲むムラー」展、夏は日本の冷温帯に自生するブナに焦点をあてた「前田博史天然写真展 樵史」展、秋は文化庁主催の地震などの自然災害に遭遇した遺跡も紹介した、特別展「発掘された日本列島2016 新発見考古速報」、冬は「志国高知幕末維新博」に関連し、幕末の書跡を紹介した「幕末の土佐一書跡にみる人物群像一」展を開催した。以上のような企画展のほかに「終戦と復興」などの「コーナー展」を5回開催した。

調査研究においては、歴史部門で吉田東洋の漢詩と手紙の新発見があり、この資料を企画展で紹介したところ、マスコミに取り上げられるなど注目された。また、調査・研究成果を掲載した『研究紀要』を発行した。

当館は平成29年3月から2年間開催される「志国高知 幕末維新博」の地域会場になっていることから、博覧会の開幕にあわせて企画展「幕末の土佐一書跡にみる人物群像一」(後期)

を開催したほか、幕末維新时期をテーマに連続して開催する企画展を続けて観ていただくためのスタンプラリーを開始した。さらに国史跡・岡豊城跡の詰に櫓（3月31日落成）を上げた。

ア 利用状況

(ア) 展覧会

展覧会	入館者(人)	料金(千円)	備考
通常展示	5,337	860	(入館者内訳)
企画展	18,388	3,486	・有料一般 : 9,552人 (40.3%) ・小中高校生 : 3,753人 (15.8%) ・長寿減免者 : 10,420人 (43.9%)
計	23,725	4,346	

(イ) 貸室等

貸室等	利用件数	料金(円)	備考
民家	6	1,980	学校団体、俳句会、月見会等
多目的ホール	61	9,830	民家の甲子園、学校団体のビデオ視聴等

(ウ) 岡豊城跡(岡豊山歴史公園)

催し等	来園者数(人)	備考
岡豊城跡散策	14,932	バス164台
さくらまつり	8,000	
長宗我部フェス	900	
計	23,832	

イ 企画展等展示関係

(ア) 企画展・特別展

企画展名	期間(休館日を除く開館日数)	観覧者数
企画展 いざなぎ流の里・物部 ー神々と精霊の棲むムラー	H28. 4. 29 (金・祝) ~ 6. 26 (日) 59日間	6,515人
企画展 前田博史天然写真展 樞史	H28. 7. 15 (金) ~ 9. 19 (月・祝) 67日間	5,832人
特別展 発掘された日本列島2016 新発見考古速報	H28. 11. 12 (土) ~ 12. 18 (日) 37日間	2,223人
企画展 幕末の土佐 ー書跡にみる人物群像ー	H29. 1. 29 (日) ~ 5. 10 (水) 102日間 (平成28年度は62日間) <H29. 1. 29 (日) ~ 3. 3 (金) 前期34日間> <H29. 3. 4 (土) ~ 5. 10 (水) 後期68日間>	3,818人
企画展観覧者数合計		225日間 18,388人

(イ) 通常展示

展示室名	期間(企画展開催以外の日数)	観覧者数
3階総合展示室・2階長宗我部展示室	H28. 4. 1 (金) ~ H29. 3. 31 (金) 122日間	5,337人

*休館日: H28. 7. 4、11. 6~11、12. 19~23、12. 27~1. 1

(ウ) 通常展示 コーナー展

コーナー展名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
深淵神社の芝居絵屏風	H28. 8. 1 (月) ~ 8.31 (水) 31日間	3,196人
終戦と復興	H28. 9. 1 (木) ~11. 5 (土) 66日間	3,389人
千支の玩具 酉	H28.12.24 (土) ~H29.1.31 (火) 33日間	1,332人
昔のくらしの道具	H29. 1. 2 (月) ~ 3. 5 (日) 63日間	3,013人
おひなさま	H29. 2. 4 (土) ~ 3.14 (火) 39日間	2,434人

(エ) フリースペース・ミニギャラリー展示 (県民参加型展示企画)

展 示 会 名	期 間	場 所
民俗シリーズ写真展「伊尾木川の流域で暮らす人々&森林軌道の今と昔」	H28. 4. 9(土)~ 5.29(日) 51日間	ミニギャラリー及びフリースペース
モラード会創作絵画展	H28. 7.15(金)~ 9.19(月) 67日間	フリースペース
第14回民家の甲子園 全国高等学校対抗民家町並みフォトコンテスト 高知県大会 テーマ「和」 写真展示	H28. 6.18(土) 1日間	展示: エントランス 大会: 多目的ホール
鏡川写楽の会 写真展	H28.11.12(土)~12.11 (日) 30日間	ミニギャラリー及びフリースペース

ウ 教育普及事業

(ア) 講演会

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
研究フォーラム いざなぎ流の呪術と神楽	佛教大学教授 斎藤英喜氏 京都女子大学准教授 梅田千尋氏 国際日本文化研究センター所長 小松和彦氏	H28. 5. 8 (日)	112人
樹の声を聴く、命を紡ぐ	前日本樹木医会副会長 濱田吉成氏	H28. 8.28 (日)	105人
福島県相双地域の古代製鉄と東日本大震災の復興調査	(公財) 福島県文化振興財団 遺跡調査部調査課長 吉田秀享氏	H28.11.19 (土)	23人
発掘された日本列島2016のみどころ	文化庁文化財部記念物課 埋蔵文化財部門文部科学技官 森先一貴氏	H28.11.26 (土)	44人
		4回	284人

(イ) 講座

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
前田博史写真教室	写 真 家 前田博史氏	H28. 7.31 (日)	20人
淡路島発見の銅鐸の謎	高知大学講師 宮里 修氏	H28.11.12 (土)	41人
筆跡からみる龍馬	高知県立坂本龍馬記念館 主任学芸員 三浦夏樹氏	H29. 3.20 (月・祝)	55人
筆跡からみる慎太郎	中岡慎太郎館学芸員 豊田満広氏	H29.3.25 (土)	47人
		4回	163人

(ウ) 公 演

演 題	公 演 者	実 施 日	観覧者数
物部の踊り「はっさん」	物部民謡部	H28.5.3 (火・祝)	100人
いざなぎ流神楽	いざなぎ流神楽保存会	H28.5.7 (土)	180人
		2回	280人

(エ) ミュージアムトーク (旧展示室トーク)

ト ー ク 名	講 師	実施日	参加者数
いざなぎ流の里・物部	当館学芸員 梅野光興	H28. 5. 3 (火・祝)	70人
いざなぎ流の里・物部	当館学芸員 梅野光興	H28. 6. 19 (日)	30人
いざなぎ流の里・物部	当館学芸員 梅野光興	H28. 6. 25 (土)	7人
いざなぎ流の里・物部	当館学芸員 梅野光興	H28. 6. 26 (日)	18人
前田博史天然写真展 樫史	写真家 前田博史氏	H28. 7. 17 (日)	30人
前田博史天然写真展 樫史	写真家 前田博史氏	H28. 8. 21 (日)	30人
前田博史天然写真展 樫史	写真家 前田博史氏	H28. 9. 19 (月・祝)	36人
発掘された日本列島2016	当館副館長 岡本桂典 当館学芸員 曾我満子	H28. 11. 23 (水・祝)	22人
発掘された日本列島2016	当館学芸員 曾我満子	H28. 12. 3 (土)	13人
千支の玩具 酉	当館学芸員 中村淳子	H29. 1. 2 (月)	15人
おひなさま	当館学芸員 中村淳子	H29. 2. 25 (土)	10人
幕末の土佐 －書跡にみる人物群像－	当館学芸課長 野本 亮 学芸員 石畑匡基	H29. 3. 19 (日)	22人
幕末の土佐 －書跡にみる人物群像－	当館学芸課長 野本 亮 学芸員 石畑匡基	H29. 3. 26 (日)	21人
13回			324人

(オ) 史跡めぐり・バスツアー

史 跡 巡 り ツ ァ ー 名	講 師	実 施 日	参加者数
いざなぎ流の里めぐり	当館学芸員 梅野光興	H28. 5. 28 (土)	40人
れきみんサークル&カルチャー サポーターバス研修ツアー －土佐の幕末維新を見つめなおす旅－	北川村立中岡慎太郎館 学芸員 高知県立坂本龍馬記念館学芸員 高知城歴史博物館学芸員学芸員	H29. 3. 8 (水)	29人
2回			69人

(カ) ワクワクワーク

タ イ ト ル 名 (内 容)	講 師	実 施 日	参加者数
御幣切り体験	いざなぎ流太夫 森安正芳氏 カルチャーサポーター	H28. 5. 3 (火・祝)	25人 (見学41人)
土佐民話の家28	市原麟一郎氏 (土佐民話の会)	H28. 5. 3 (火・祝)	102人
琥珀で勾玉を作ろう	当館学芸員 曾我満子	H28. 7. 18 (月・祝) (3回実施)	57人
ミニチュア鏡をつくってみよう	当館学芸員 曾我満子 カルチャーサポーター	H28. 12. 11 (日)	7人
コマをまわしてみよう	池森猛氏 カルチャーサポーター	H29. 1. 2 (月)	100人
土佐和紙漆喰張り子 とりの絵付	草流舎 田村多美氏 カルチャーサポーター	H29. 1. 21 (土)	25人
8回			357人

エ 学校教育関係

(ア) 学校来館対応

学習メニュー	校数	参加者	備 考
体験学習	22	1,250人	火おこし、勾玉づくり、甲冑体験など
解説	16	710人	長宗我部元親・昔の暮らしの道具・通史など
ビデオ視聴	19	1,359人	アニメ長宗我部元親・歴史に息づく進取と開明、水田跡は語るなど
自由見学	7	285人	クイズを使った展示室見学を含む
岡豊山見学	4	176人	学芸員による案内。自由見学など
計	(延べ68校) 実数44校	(延べ3,780名) 実数2,350名	実数には引率者153人、保護者37人を含む

(イ) 出張派遣授業 (月別)

月 日	学 校 名	主な内容	生徒数
H28. 6. 6 (月)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 6. 10 (金)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 6. 13 (月)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 6. 17 (金)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 6. 20 (月)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 7. 8 (金)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 7. 11 (月)	高知県立岡豊高等学校	地域課題研究	4人
H28. 7. 27 (水)	高知市立一宮東小学校 児童クラブ	昔遊び	60人
H28. 8. 8 (月)	高知市立介良潮見台小学校	昔遊び	50人
H28. 8. 9 (火)	高知市立潮江小学校	昔遊び	90人
H29. 1. 17 (火)	南国市立日章小学校	昔の暮らし道具	19人
H29. 1. 18 (水) 1. 19 (木) 1. 24 (火) 1. 25 (水) 1. 31 (火) 2. 1 (水)	学校法人龍馬学園	高知県の歴史観光資源について 各専門分野による講座を実施 ①～③長宗我部氏 ④高知城探訪 ⑤野中兼山 ⑥高知県の近代化遺産 ⑦国史跡・岡豊城跡 ⑧土佐のやき ものなど計19テーマで講義	108人 (のべ人数)
17回			355人

(ウ) 職場体験の受け入れ

学 校 名	期 間	人 数
高知市立介良中学校	H28. 5. 25(水)～ 5. 27 (金)	1人
南国市立香長中学校	H28. 6. 21(火)～ 6. 23 (木)	11人
高知県立嶺北高等学校	H28. 8. 12(金)～ 8. 13 (土)	1人
南国市立鳶ヶ池中学校	H28. 11. 16(水)～11. 18 (金)	1人
計4校	11日間	14人

(エ) 博物館実習の受け入れ

大 学 名	期 間	人 数
高知大学・くらしき作陽大学・ 帝京大学	H28. 8. 3 (水)～ 8.10 (水) 1日休	4人
3大学	7日間	4人

オ 旧大柝高校活用・物部関連事業

事 業 内 容	講 師	実 施 日	参加者数
香美異界談義（香美市主催）	小説家 京極夏彦氏 国際日本文化研究センター所長 小松和彦氏	H28. 5. 29 (日)	593人
第5回物部旧大柝高校 民俗資料一般公開		H28. 10. 9 (日) 10 (月・祝)	204人
楠目小学校・大柝小学校旧大柝高 校を見学	当館学芸員 梅野 光興	H29. 2. 16 (木)	52人
		4日	849人

カ 地域との連携イベント

南国市や「土佐のまほろば地区振興協議会」など地域の団体と連携、協力して、歴史民俗資料館を会場に多彩なイベントを開催し、地域を盛り上げるとともに、来場者の入館誘導に取り組んだ。

イベント名	主 催 者	実 施 日	人 数
第7回 岡豊山さくらまつり （食1グランプリと同時開催） ※演奏、ダンス等のステージ・ク イズラリー等	岡豊山さくらまつり実行委員会 （歴民館、南国市、南国市観光協会 、岡豊ふれあい館、土佐のまほろば 地区振興協議会、岡豊の史跡を学ぶ 会 ほか）	H28. 4. 2 (土) 4. 3 (日)	8,000人
第7回 長宗我部フェス ※鉄砲隊の演武、ステージショー 、岡豊城跡クイズ等	長宗我部フェス実行委員会 （構成メンバーは上記岡豊山さく らまつり実行委員会とほぼ同じ）	H28. 5. 14 (土)	900人
第6回 岡豊山の夏祭り ※もの作り教室、うまい物屋台、 お化け屋敷、怪談等	歴民館（協力：土佐のまほろば地区 振興協議会、高知県立高知東高校、 岡豊小学校の保護者の方々）	H28. 8. 13 (土)	806人

(4) 坂本龍馬記念館

企画展は年間を通じて4本を開催した。特に、昨年は、慶応2年（1866）の薩長同盟から150年にあたるため、薩長同盟成立150年記念企画展を北川村の中岡慎太郎館企画展「幕長戦争一徳川幕府崩壊の引き金」と同時期開催とし、講演会・バスツアーの共同企画、両企画展の共通図録の発行を行った。

また、新館増築等工事による休館前最後の企画展として、開館以来の25年間を振り返る企画展を開催し、過去の企画展パンフレット・ポスターをはじめ「漂異紀略（大津本）」、伝中岡慎太郎宛龍馬書簡など、代表的な収蔵資料やこれまで展示する機会の少なかった資料を展示した。

さらに、当初の休館計画に基づき予定していた県外（岡山県林原美術館）での坂本龍馬記念館巡回企画展も現地の協力を得て開催し好評を博した。

教育普及事業としては、園児から高校生までを対象とした出前授業を実施するとともに、8月15日の終戦記念日には子供たちを対象とした第5回目となる「夏休み子ども・龍馬フォーラム」を開催し、子供たちが中心となって龍馬や平和に関するワークショップ形式での意見交換を行った。

また、広報誌「飛騰」の発行や「現代龍馬学会」総会及び発表会の活動、インターネットによる龍馬検定を行うほか、工事による休館を控え、これまでの感謝を込めてシェイクハンド龍馬像を始点終点として、館内をめぐって握手の鎖を作る「レッツゴー！ハンドインハンド」を実施するなど、龍馬の顕彰と龍馬思想の普及に努めた。

ア 坂本龍馬記念館利用状況

展覧会	入館者(人)	料金(千円)	備 考
常設展・企画展	131,280	49,306	(入館者内訳) 一 般 : 107,003人 小中高生 : 11,659人 乳幼児 : 2,583人 減免・招待者 : 10,035人

イ 企画展

企 画 展 名	期 間	日数	入館者数(人)
～新国を拓き候～ 「海を渡った“龍馬”たち」展	H28. 4. 1(金)～H28. 7. 1(金)	92	36,883
坂本龍馬の実像は？ 「龍馬の評価」展	H28. 7. 2(土)～H28. 11. 4(金)	126	53,839
薩長同盟150年記念 「再検証・薩長同盟」展	H28. 11. 5(土)～H29. 1. 6(金)	63	19,026
「収蔵資料でふりかえる・坂本龍馬記念館25年のあゆみ」展	H29. 1. 7(土)～H29. 3. 31(金)	84	21,532

県 外 巡 回 展	期 間	日数	入館者数(人)
「土佐から来たぜよ！坂本龍馬」展	H29. 1. 20(金)～H29. 3. 12(日)	52	(参考) 9,700

ウ 教育普及事業等

事 業 名	実 施 日	参加人員(人)
現代龍馬学会 薩長同盟から150年、現代龍馬学会の総会・発表会は8回目となった。特別講演は、古城春樹氏(下関市立歴史博物館館長補佐、下関市立東行記念館長)による「薩長和解から盟約締結へ ―長州内部事情と語られない過程―」とし、そのほかに6人の会員から本年のテーマ「夢新たに」に添った多面的な発表が行われた。当日だけでなく、各月例会でも様々	H28. 5. 28(土)	78

	<p>な発表が行われており、会員の固定化という課題はあるものの、継続の力を感じる研究成果及び学会の位置づけとなっている。</p> <p>(会場：国民宿舎桂浜荘)</p>		
出前授業	<p>記念館元学芸専門員による出前授業を県内各地の保育園、小中学校23箇所で行った。実施にあたっては元職員ご夫妻が龍馬とお龍に扮するなど園児から児童生徒まで幅広い年代が楽しく学ぶことのできるよう工夫も凝らした。</p> <p>また、学芸員による龍馬に関する授業を県内外4箇所の中・高校で行った。実施先の教職員とともに各校の授業形態に添った歴史、郷土、人権、キャリア教育等の要望に応えることができた。授業後には感想文も寄せられ概ね好評であった。</p>	<p>H28. 4. 26 (火) ～ H29. 3. 7(火)</p>	<p>1,551 (教員、保護者を含む)</p>
子ども教室	<p>江戸時代から遊ばれている紙切り遊びの“紋切り”を模様にしたうちわを制作する「りょうまこども教室」を行った。</p> <p>(会場：国民宿舎桂浜荘)</p>	<p>H28. 7. 30(土)</p>	<p>29 (保護者を含む)</p>
夏休み子ども・龍馬フォーラム	<p>第5回となったフォーラムでは県内小中学校の児童生徒を中心に行った。今までとは違ってワークショップ形式とし、3グループに分かれて率直な意見交換ができた。学芸員3人はファシリテーターとして参加者の意見集約を促す進行役となり、児童生徒には司会、記録、発表の役割分担をさせるなど全員参加の成果を見ることができた。他にハワイ・プナホウスクール教諭、ユナイテッド航空職員、ギター奏者など多彩なゲストも参加、発表や助言者として盛り上がり彩りを加えた。フォーラム後においても、被爆少女・佐々木禎子さん（広島原爆の子の像モデル）の平和メッセージ運動である、サダコ折り鶴プロジェクトへの活動参加も行った。</p> <p>(会場：国民宿舎桂浜荘)</p>	<p>H28. 8. 15(月)</p>	<p>小中学生 18 聴衆 約50</p>
龍馬検定	<p>平成20年から始めた龍馬検定は、一定の龍馬ファン及び検定ファンの受検が終わったことや検定ブームの収束もあって、4年ほど前から利用者が大幅に減少してきた。このため、27年度に引き続き、中</p>	<p>通 年</p>	<p>975</p>

	級編と上級編を中止した。29年度は休館、30年度からはホームページもリニューアルするため、これを機会に、現状の検定は一旦終了させ、今後の手法や内容について検討する。		
レッツゴー！ ハンドインハンド	10月から新館建設工事が始まったため、参加者の安全対策等を考慮し、シェイクハンド龍馬像を始点終点として、館内をめぐる行事とした。参加者の親近感もわき、また握手の鎖ができた瞬間も分かりやすかった。桂浜水族館のフンボルトペンギンや、各種マスコットキャラクターも参加、常連の葛島保育園龍馬組の園児はじめ参加者の人気を集めた。中には銅像と桂浜・龍馬像をつなぐ行事を望む声もあったが、参加者からは概ね好評であったと思われる。	H28. 11. 13(日)	350

(5) 文学館

平成28年度は指定管理者第3期の3年目で、運営の基本方針に基づき展覧会や各種企画等を通じて、ゆかりの作家の顕彰や土佐文学の魅力を伝え、また県民の文学への関心を高めるための取り組みが一層推進できるように業務を行った。

企画展覧会としては、オリジナル展3本、巡回展1本を開催し、ゆかりの作家や郷土を舞台とした作品、子どもたちに人気のある作品、外国の文学などを題材に幅広い内容で開催した。あわせて観覧者参加型の企画なども開催し、県民が親しみやすく、人の集う施設を目指して取り組んだ。

常設展では、収蔵資料を中心にローテーション方式で入れ替えを行い、40数名の顕彰作家を紹介している。平成28年度はその中から新しく、坂崎紫瀾、小山いと子、黒岩涙香を紹介した。

当館には高知県関係の貴重な文学資料があり、引き続き県民の財産である収蔵資料について展示等でのタイムリーな公開を目指していく。

教育普及事業では、文学カレッジや専門講座や紙芝居ボランティア公演などの開催をはじめ、市民講座、文学学校などからのご要望にお応えして講師として職員の派遣なども行った。児童生徒文学作品朗読コンクール、朗読の会、出張朗読など、朗読を通して文学を身近に感じていただける取り組みも行った。おはなしキャラバンについては、近年引き合いが多く放課後児童クラブ等を中心に公演を行なった。

広報活動については、館報「藤並の森」を年4回発行、年間イベントガイドの発行をはじめホームページ、ブログなどの内容を充実し、随時更新を行うことで最新の情報提供が出来るように努めた。

さらに、調査研究を広く紹介するために、新聞への連続掲載や同人誌への研究発表なども行った。

また、28年度は開館以来初めてとなる、収蔵庫を含めた2階全展示室の燻蒸作業を行い、保存資料及び展示資料の保存・保護作業を通して、お客様に良好な観覧環境をお届け出来るように努めた。

ア 文学館利用状況

種 別		入館者(人)	料金(円)	備 考
主 催	常設展	1,791	374,280	(入館者内訳) ・一般 : 12,013人 ・小中高生 : 6,809人 ・長寿者等 : 8,263人
	企画展	25,294	4,957,900	
	計	27,085	5,332,180	
ホール		8,153	726,280	※ 利用日数 : 246日/259件 (160件)
茶 室		2,560	193,000	※ 利用日数 : 84日/89件 (22件)
合 計		37,798	6,251,460	

※件数は貸出区分(午前・午後・全日)でカウント、()内は、使用料免除及び当館主催の件数

イ 展覧会

(ア) 企画展

企画展名	開催期間	開催日数	観覧者数
・宮沢賢治 ことばの宇宙展	H28. 4. 1(金) ～H28. 4. 17(日)	17日間	1,086人
・桐野伴秋の世界と文学の旅 ～土佐・日本そして世界～	H28. 4. 29(金・祝) ～H28. 6. 19(日)	52日間	5,080人
・～デビュー20周年記念～ 島田ゆか絵本原画展	H28. 7. 9(土) ～H28. 9. 19(月・祝)	73日間	11,925人
・源氏物語展～雅のDNA～	H28. 10. 1(土) ～H29. 1. 9(月・祝) ※年末年始休館除く実開催95日	101日間	4,264人
・犬、猫、作家 ～作家とペットの素敵な関係～	H29. 1. 21(土) ～H29. 3. 20(月・祝)	59日間	2,939人
合 計		296日間	25,294人

※「宮沢賢治 ことばの宇宙展」H27年度よりの継続企画展のため、数値はH28年度の実績のみを計上
休館 : 6/20(月)～7/5(火) : (燻蒸作業及び施設改修) 12/27(火)～1/1(日) : (年末・年始)

(イ) 常設展

区 分	テ ー マ 内 容	会 期
寺田寅彦 ミニコーナー	寺田寅彦ミニコーナーでは、前年度に引き続き全国文学館協議会共同企画「3.11 文学館からのメッセージ」に参加し、「寺田寅彦と地震Ⅳ」と題し、寅彦の地震に関する資料を中心に展示した。東京理科大学の近代科学資料館でも同様に展示された。	H28. 4. 1(金) ↓ H29. 3. 31(金)

宮尾登美子の世界	伝統文化や歴史の中の女性の生き方やその生涯をテーマに、数々の名作を執筆し続けてきた宮尾登美子さんの作品から『天涯の花』を展示した。	H28. 4. 1 (金) ↓ H29. 3. 31 (金)
企画コーナー	明治・大正・昭和・平成と活躍した高知詩人たちの系譜や活動を誌・初版本・絵画・書簡等通じて紹介する「近代高知詩人たちの系譜～情熱と魂の叫び～」を展示した。	H28. 4. 1 (金) ↓ H29. 3. 31 (金)

ウ 教育普及事業

事業名	会 期	回数	参加者 (人)
文学カレッジ・文学専門講座等	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	11	387
朗読の会	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	10	409
☆児童生徒文学作品朗読コンクール	地区審査3回、県審査・講演会1回	4	552
記念講演会(企画展関連)	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	2	215
ギャラリートーク (企画展開催中毎土曜日)	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	101	2,542
語りと紙芝居の会	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	12	311
☆おはなしキャラバン	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	97	4,860
土佐近世文学研究会	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	45	558
出張朗読会	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	2	83
職員による講演会等	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	16	1,201
その他企画展関連イベント	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	53	3,748
	参加者合計 (人)		14,866

エ こども対象事業 (再掲)

事業名	実施時期	回数	参加者(人)	備考
児童生徒文学作品朗読コンクール	・H28. 8. 17(水)8. 19(金) 8. 22(月) ・H28. 11. 13(日)	・地区審査3 ・県審査1	552	・県審査時に記念講演会(講師:菱木晃子)開催
おはなしキャラバン	H28. 4. 1(金) ～ H29. 3. 31(金)	97	4,860	

オ カルチャーサポーターの活動概要

活動内容	登録数※	活動回数	参加延人数
イベント補助	16名	9回	14名
紙芝居普及	25名	52回	71名
資料整理	12名	85回	93名
草の根広報	23名	4回	92名
朗読	40名	14回	52名
文学散歩	7名	0回	0名
合計	123名	164回	322名

※ 平成28年度カルチャーサポーター認定者は78名。

(6) 埋蔵文化財センター

受託事業として開発等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、指定管理業務として高知県立埋蔵文化財センターの施設管理及び出土文化財保管管理活用事業並びに埋蔵文化財保護推進のための広報普及事業を実施した。

ア 発掘調査受託事業

国土交通省（県教育委員会から再委託）から委託を受け、南国安芸道路建設工事に伴う高田遺跡の発掘調査と平成27年度に発掘調査を行った宇賀遺跡及び高田遺跡の整理作業、及び東野土居遺跡Ⅳの報告書刊行に向けた整理業務を実施した。

県からの委託業務では、国道195号線建設工事に伴う伏原遺跡発掘調査、都市計画道路高知南国線建設に伴う若宮ノ東遺跡発掘調査及び資料整理業務を行った。

また、発掘調査に伴う記者発表、現地説明会を伏原遺跡、高田遺跡及び若宮ノ東遺跡で行い、参加人数は計225人であった。

事業主体	調査名	受託金額	遺跡名等	調査場所	内容	面積 (㎡)
国土交通省	南国安芸道路	68,482,800	高田遺跡	香南市野市町	発掘	5,700
		63,255,600	東野土居遺跡	香南市野市町	整理	0
			宇賀遺跡	香南市野市町	整理	0
			高田遺跡	香南市野市町	整理	0
高知県	国道195号線	13,741,920	伏原遺跡	香美市土佐山田町	発掘	767
	都市計画道路高知南国線	66,262,320	若宮ノ東遺跡	南国市篠原	発掘	2,180
		2,548,800	若宮ノ東遺跡	南国市篠原	整理	0
合計		214,291,440				8,647

イ 埋蔵文化財センター指定管理事業

(ア) 埋蔵文化財センターの利用状況

利用内容	人数	備考
入館者数	4,651人	大人3,068人 小人1,583人
館外利用者数	4,562人	親子考古学教室 333人 記念シンポジウム 90人 出前考古学教室 3,375人 移動展「いの町の遺跡展」 249人 移動展 講演会 109人 移動展 ワークショップ 51人 イオンワークショップ 130人 発掘現場見学会 225人
利用者総数	9,213人	

(イ) 展示会及び入館者数

a 埋蔵文化財センター内展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
企画展	H28. 4. 25(月)～H28. 7. 9(土)	790	考古資料からみた高知県の歴史
巡回展	H28. 7. 18(月)～H28. 9. 30(金)	2,121	発掘へんろ展 －戦国時代の四国－
特別展	H28. 10. 24(月)～H29. 4. 7(金)	※1,394	田村遺跡群とその時代 2
	その他の期間の入館者	346	
	年間入館者総数	4,651	

※H28. 10. 24～H29. 3. 31までの入館者数

b 埋蔵文化財センター外展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
移動展	H29. 2. 13(月)～H29. 2. 26(日)	249	いの町の遺跡展
	年間入館者総数	249	

(ウ) 公開講座

a 考古学からわかる歴史教室

講座内容	実施日	参加人員(人)	備考
不思議がいっぱい 高知の遺跡	H28. 5. 14(土)	23	埋蔵文化財センター
勾玉のお話	H28. 7. 9(木)	7	〃
お墓の移り変わり	H28. 11. 26(土)	22	〃
高知のお城いろいろ	H29. 1. 7(土)	28	〃
計4回	参加人員 合計	80	

b 遺跡解説会

講座内容	実施日	参加人員 (人)	備考
高知城下の遺跡	H28. 6. 11(土)	36	埋蔵文化財センター
岡遺跡と安芸市の遺跡	H28. 9. 3(土)	22	〃
27年度調査分高田遺跡	H28. 12. 17(土)	25	〃
いの町の遺跡	H29. 1. 28(土)	16	〃
計4回	参加人員 合計	99	

c 親子考古学教室 (火起こし・勾玉づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	回数	実施日	参加人員 (人)
第1・2回	H28. 7. 23(土)	73	第21・22回	H28. 8. 10(水)	76
第3・4回	H28. 7. 24(日)	51	第23・24回	H28. 8. 12(金)	78
第5・6回	H28. 7. 26(火)	69	第25・26回	H28. 8. 14(日)	72
第7・8回	H28. 7. 28(木)	83	第27・28回	H28. 8. 16(火)	67
第9・10回	H28. 7. 30(土)	24	第29・30回	H28. 8. 19(金)	76
第11・12回	H28. 7. 31(日)	79	第31・32回	H28. 8. 20(土)	19
第13・14回	H28. 8. 1(月)	72	第33・34回	H28. 8. 23(火)	63
第15・16回	H28. 8. 3(水)	35	第35・36回	H28. 8. 25(木)	69
第17・18回	H28. 8. 6(土)	65	第37・38回	H28. 8. 27(土)	69
第19・20回	H28. 8. 7(日)	66	第39・40回	H28. 8. 28(日)	80
参加人数 合計					1,286

※午前・午後2回開催

d 古代ものづくり体験教室 (ガラス玉づくり・勾玉づくり・銅鏡づくり・土器づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	備考
第1・2回	H28. 5. 21(土)	9	午前・午後2回開催
第3・4回	H28. 6. 25(土)	20	〃
第5・6回	H28. 10. 29(土)	26	〃
第7・8回	H28. 11. 21(月)	2	〃
第9・10回	H28. 12. 3(土)	17	〃
第11・12回	H29. 1. 16(月)	20	〃
第13・14回	H29. 2. 18(土)	20	〃
第15・16回	H29. 3. 4(土)	11	〃
第17・18回	H29. 3. 18(土)	14	〃
	参加人員 合計	139	

e 授業にいかせる考古学教室

講座内容	実施日	参加人員 (人)	備考
考古学概論・館内見学等	H28. 8. 2(火)	3	

f 展示品解説・報告会

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
第1回展示報告会	H28. 5. 7(土)	15	企画展
第1回展示品解説	H28. 6. 4(土)	14	〃
第2回展示報告会	H28. 7. 18(月)	28	巡回展
第2回展示品解説	H28. 8. 11(木)	14	〃
第3回展示報告会	H28. 9. 10(土)	25	〃
第4回展示報告会	H28. 11. 12(土)	26	特別展
第3回展示品解説	H28. 12. 10(土)	16	〃
	参加人数 合計	138	

g 「巡回展」記念シンポジウム

講演題目	会場	実施日	講師	参加人員 (人)
中世城館の保存と整備・活用	高知県立歴史民俗資料館	H28. 8. 21(日)	滋賀県立大学教授 中井 均 氏	90

(エ) 学校対象事業

事業名	実施期間	参加人員 (人)	備考
出前考古学教室	H28. 4. 15(木)～8. 13(土) (前期)	2, 516	80回 78校
	H28. 9. 5(月)～H29. 1. 30(月) (後期)	859	21回 19校
合計		3, 375	101回 97校

(オ) 職場体験受入

体験内容	受入校名	受入人員 (人)	備考
発掘現場体験 整理作業体験 遺物検索作業体験 館内見学など	介良中学校	2	
	野市中学校	1	
	大津中学校	3	
	鳶ヶ池中学校	1	
	計	7	